

京都府立医科大学附属病院 小児科・旧小児循環器腎臓科で腎生検を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

特発性膜性腎症に関する調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学 小児科では、小児特発性膜性腎症に関する調査研究を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院 小児科・小児循環器腎臓科で腎生検を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的：小児特発性膜性腎症は、一般に予後は良好と考えられていますが、その臨床経過についての報告は少なく、治療法も確立していません。今回、小児特発性膜性腎症の臨床像について調査したいと考えています。

研究の方法：1997年以降、京都府立医科大学 小児科・小児循環器腎臓科で腎生検を受けられた患者様が対象となります。研究に用いられる情報としては、病歴、腎生検所見、治療内容、血液検査や尿検査のデータなどについて検討します。研究期間は承認日から平成31年3月31日までです。研究に用いられる情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。情報を共同研究機関に提供する場合は、個人を特定できる情報を削除した記録媒体を用い、対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

研究組織：京都府立医科大学 小児科 西田眞佐志

京都第一赤十字病院 小児科 奥村保子

松下記念病院 小児科 磯田賢一

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成29年12月28日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 京都府立医科大学 小児科

准教授・西田 眞佐志

電話：075-251-5571